

海区便り

V o l . 6 2

はじめに

◎第305回(第20期第14回)隠岐海区漁業調整委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

出席委員：葛西、吉田、前田、矢田、濱田、亀谷、田中、安部委員

欠席委員：小中、升谷委員

開催日時：平成27年6月18日(木) 14:10~15:00

開催場所：隠岐郡隠岐の島町港町 JFしまね西郷支所3階会議室

議題

1. 島根県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画の変更について(諮問)

ずわいがに、まさば及びごまさばの平成27年漁期のTAC(漁獲可能量)が国から示されました。国の基本計画変更に伴って、島根県の計画も変更するために、知事から隠岐海区漁業調整委員会へ諮問がされ、審議が行われました。以下報告された変更点です。

【知事管理量の設定】

| 平成26年漁期 (単位：トン) | | |
|-----------------|--------------------|--------|
| 第一種特定海洋生物資源の種類 | 管理の対象となる期間 | 知事管理量 |
| まあじ | 平成26年1月から12月まで | 46,000 |
| まいわし | 平成26年1月から12月まで | 33,000 |
| まさば及びごまさば | 平成26年7月から平成27年6月まで | 29,000 |
| するめいか | 平成26年4月から平成27年3月まで | 若干 |
| ずわいがに | 平成26年7月から平成27年6月まで | 若干 |

| 平成27年漁期 (単位：トン) | | |
|-----------------|--------------------|--------|
| 第一種特定海洋生物資源の種類 | 管理の対象となる期間 | 知事管理量 |
| まあじ | 平成27年1月から12月まで | 40,000 |
| まいわし | 平成27年1月から12月まで | 57,000 |
| まさば及びごまさば | 平成27年7月から平成28年6月まで | 29,000 |
| するめいか | 平成27年4月から平成28年3月まで | 若干 |
| ずわいがに | 平成27年7月から平成28年6月まで | 若干 |

【中型まき網漁業への知事管理量の設定】

| 平成26年漁期 (単位：トン) | | |
|-----------------|---------|--------|
| 第一種特定海洋生物資源の種類 | 採捕の種類 | 知事管理量 |
| まあじ | 中型まき網漁業 | 44,000 |
| まいわし | 中型まき網漁業 | 32,000 |
| まさば及びごまさば | 中型まき網漁業 | 28,000 |

| 平成27年漁期 (単位：トン) | | |
|-----------------|---------|--------|
| 第一種特定海洋生物資源の種類 | 採捕の種類 | 知事管理量 |
| まあじ | 中型まき網漁業 | 38,000 |
| まいわし | 中型まき網漁業 | 56,000 |
| まさば及びごまさば | 中型まき網漁業 | 28,000 |

《審議の結果》この諮問について、原案のとおりで異議なしの答申をすることとなりました。

2. 全国海区漁業調整委員会連合会の平成28年度の国等への要望事項について(協議)

平成28年度全漁調連日本海ブロック会議に提出する要望事項案として、従来からの懸案事項である日韓漁業協定の実効確保と監視取締体制の充実強化に関することとして、以下の5点が提案されました。

1. 竹島の領土権を早急に確立し、暫定水域を撤廃すること
2. 竹島の領土権が確立し、暫定水域が撤廃されるまでの間、両国の責任のもとで、暫定水域における資源管理について、実効ある管理体制を早期に確立すること

3. 我が国の排他的経済水域内における韓国漁船の違法操業が根絶されるよう、引き続き監視取締の充実強化を図ること
4. 我が国漁船と漁場競合する韓国の延縄漁船について、許可隻数の削減、操業規制の強化を行うこと
5. 外国漁船による影響を緩和するための対策を安定的に実施すること

《協議の結果》案のとおり要望することとなりました。

3. 平成26年の漁獲状況について(報告)

島根県全体の平成26年の漁獲状況について説明がありました。概要は以下のとおりです。

- 平成26年の島根県(属人)の総漁獲量は11万7千トン(平年比88%)、総生産額は194億円(平年比102%)(図1、2)。
- 前年(平成25年)と比べると、総漁獲量で2万3千トンの減少、総生産額では5億1千万円の増加。
- 漁獲量の減少要因は、主にまき網漁業によるマイワシやウルメイワシの減少。生産額の増加は、イワシ類の減少分をマアジ、ブリ、サバ類の増加分が上回った事によるもの。
- 漁業種類別でみると、漁業生産額ベースでまき網が全体の47%を占め、沖合底びき網2そう曳きと定置網がそれぞれ全体の10%、小型底びき網1種が全体の9%となった。
- 魚種別でみると(図3)、漁獲量の上位5魚種はマアジ(4万2千トン)、ブリ(2万トン)、サバ類(2万トン)、カタクチイワシ(1万1千トン)、ベニズワイガニ(5千トン)となった。これらのうちマアジ(漁獲量の平年比124%)、ブリ(同176%)は平年を上回ったが、サバ類(同107%)、カタクチイワシ(同82%)は平年並み、ベニズワイガニ(同76%)は平年を下回った。

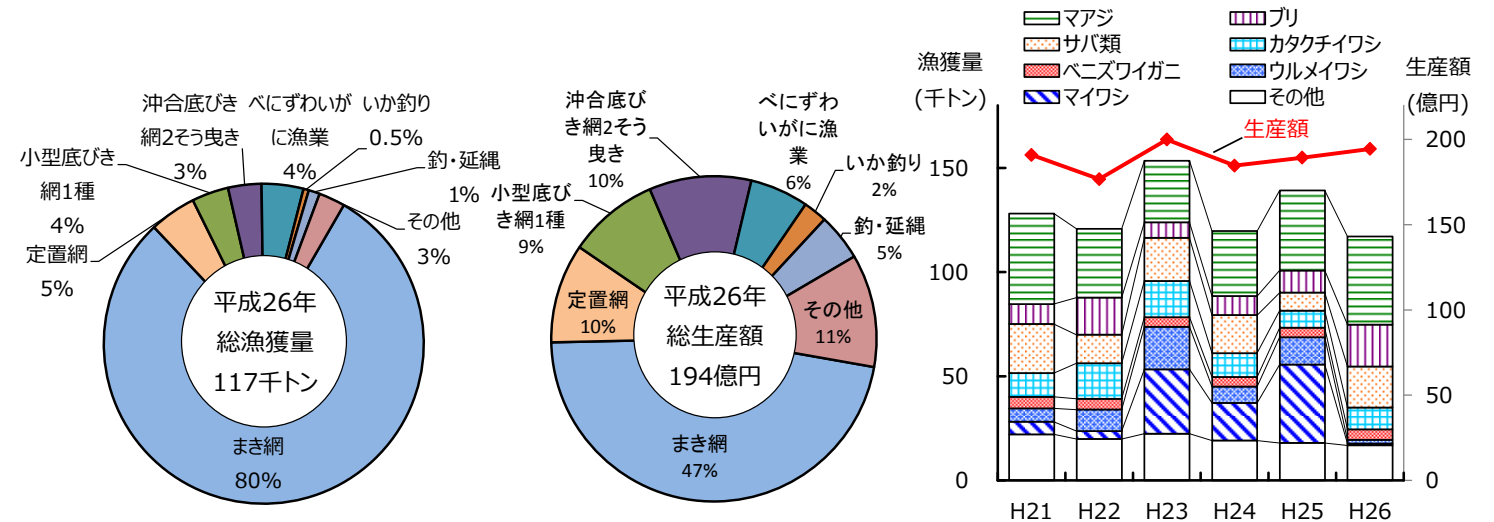


図1 平成26年の島根県の総漁獲量の漁業種類別

図2 平成26年の島根県の総生産額の漁業種類別

図3 島根県の総漁獲量・金額の推移

連絡先
 隠岐支庁水産局内
 隠岐海区漁業調整委員会事務局
 Tel : 08512-2-9669
 Fax : 08512-2-9674